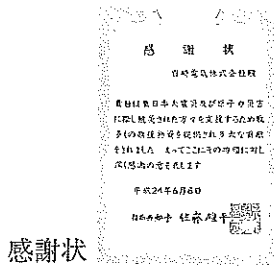


## 東日本大震災その後（2年目）

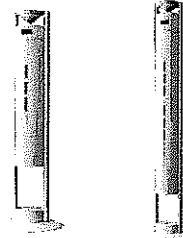
# 空気の実用化循環式清浄機設置

岩崎電気株式会社

福島県に空気循環式紫外線清浄機「エアーリア」80台を寄贈し、福島県佐藤雄平知事より感謝状を頂いております。震災後、大変な思いをして避難生活を送る皆さんの健康に、少しでもお役に立てるように。ということで、下記商品を県内の各避難所などに設置して頂きました。



感謝状



空気清浄機「エアーリア」  
光の除菌で、空気さわやか

商品概要：室内の空気を取り入れて紫外線ランプで菌を抑制し清潔な空気を送り出す除菌装置です。熱を利用しないため、エネルギーコストを抑え、熱耐性菌にも有効です。薬品も使用しないので、二次処理も不要、オゾンも発生させないので、人体や金属に無害です。紫外線はあらゆる菌に有効（菌の種類に依り効果が出る時間が変わります）で、耐性菌の発生を心配することはありません。家庭用100V電源で使用でき、紫外線ランプは装置内部に組み込みのため安全です。ランプの使用時間は約8000時間と経済的。また床置き仕様なので簡単に設置や移動が行えます。

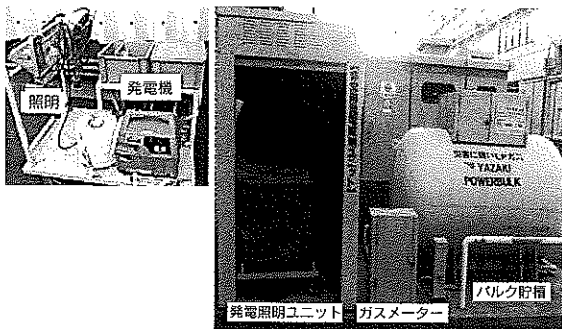
## 災害発生時のライフライン確保

テクノ矢崎株式会社

災害発生直後のライフライン寸断により、“激しい冷え込みの中で暖が取れない、暖かい食べ物が無い等”の状況が各地で発生しました。矢崎総業(株)仙台支店では昭和53年の宮城県沖地震を教訓に、社屋の耐震設計と共に災害用バルクユニットの設置を行い、東日本大震災においては貴重な電源・熱源の確保ができ、一時的な難を凌ぐことができました。この経験と実績の下、ライフライン確保の一つとして災害対応バルクユニットを震災後に力を増してご提案させていただいております。現在、東北地方各地を中心に、避難所や老人ホーム等のほか各施設にて設置の検討が行われており、宮城県内では震災後に数件を設置頂いております。ライフライン確保の方法は多々ありますが、普遍であるその重要性を蔑ろにすることなく、今後も提案・設置が継続されることが望まれます。

災害対応バルクユニットの特徴としては、①バルク貯槽内に残っているLPガスを非常時のエネルギーとして利用可能②バルク貯槽が転倒しない、非常用の供給配管が鋼製の堅固な構造体上に一体となっている為、地震振動・液状化に強い等が挙げられます。

〔仙台支店(仙台市若林区)設置の災害対応バルクユニット〕



～震災当時の使用者の声～

- ・暗闇の中で最小限の灯りが得られ、安心感があった。
- ・携帯電話等の必要な機器の電源が確保でき重宝した。
- ・煮炊き等の調理場が確保でき重宝した。

※平時にはバルク貯槽は空調機器の燃料として使用